

**コンゴ(民)月例報告**  
**政治関連**  
**2019年4月**

**主な出来事**

- 1日、チセケディ大統領は2日に行われたマッキー・サル大統領の就任式に出席するため、ダカールを訪問した。
- 3日-5日、チセケディ大統領は就任後初となるアフリカ大陸外への外遊先として米国を訪問し、ポンペオ国務長官等と会談した。
- 10日、国内の22州で州知事・副州知事選挙の投票が行われた。同日に選出された18名の州知事のうち、議会多数派プラットフォーム FCC が16の州で勝利した。
- 15日-16日、キブ湖の水難事故で100名以上が行方不明となった。生存者は37名である。
- 17日、破毀院は、カトゥンビ元カタンガ州知事の不動産不正取得問題に関し、ルブンバシ簡易裁判所が2016年に下した3年の懲役を無効とする判決を行った。
- 19日、北キブ州ブテンボ市でエボラ対策関係者が襲撃され、WHO のカメルーン人疫学者が殺害された。
- 22日、カビラ前大統領はチセケディ大統領を Cite de l'UA に訪れ、FCC-CACH 連立、首相指名と組閣等について二者協議を行った。
- 24日、国民議会事務局選挙の投票が行われ、FCC 選出のマブ ندا議員が国民議会議長に選出された。第一副議長には、カブンド UDPS 党首代行が当選した。

**1. 内政**

**(1)上院議会の開始**

・5日、先月15日の上院議員選挙の結果を受けて延期されていた上院総会が開始した(6日付RFI)。

**(2)一部選挙区での国民議会・州議会選挙の暫定結果発表**

・9日、昨年12月30日の選挙が延期された4選挙区(北キブ州ベニ選挙区、ベニ市、ブテンボ市及び、マイ=ンドンベ州ユンビ選挙区)で3月31日に実施された国民議会(15議席)及び州議会(15議席)選挙の暫定結果が発表された。国民議会選挙では、北キブ州の14議席のうち、Lamuka の候補者が10議席を獲得した。マイ=ンドンベ州ユンビ選挙区では、国民議会と州議会の各1議席はともに、カビラ前大統領が党首を務める PPRD の候補者が獲得した。

**(3)州知事・副州知事選挙の結果等**

・10日、独立国家選挙委員会(CENI)は国内の22州で州知事・副州知事選挙の投票を行った。同日に選出された18名の州知事のうち、議会多数派プラットフォーム FCC が16の州で勝利し、チセケディ大統領のプラットフォーム CACH と、ファユル候補を擁立したプラットフォーム Lamuka は各1州のみでの勝利となった。オー=ロマミ、中央カサイ、北ウバンギ及びチョポの4州では決選投票が行われる(当館注:州知事・副州知事選挙での勝利には過半数の獲得が求められる)。また、同日に投票の行われなかった4州に関し、サンクル及び南ウバンギは國務院(Conseil d'Etat)の決定による延期で、北キブ及びマイ=ンドンベは州議会選挙が延期されたため州議会

の設置後に行われることになる。

・13日、オー＝ロマミ、中央カサイ、北ウバンギ及びチヨポ州の4州で第2回投票が行われた。同日に第1回目の投票が行われた南ウバンギ州では過半数を得た候補者がいなかったため、15日に第2回の投票が行われた。サンクル州の選挙は13日及び15日ともに延期された。

#### (4)チセケディ大統領初の国内視察

・12日、チセケディ大統領は就任後初となる国内視察のためオー＝カタンガ州を訪問した。13日には高等防衛評議会を開催し、翌14日にはカスンバレサ国境の責任者と協議した。

・14日夜、チセケディ大統領は治安問題に対応するため北キブ州ゴマ市に到着、15日には高等防衛評議会を開催し、武装勢力を裏で操る議員には免責特権は適用されない等述べた。また、グレスリー-DSRSGをはじめとするゴマ駐留の MONUSCO 及び FEC(コンゴ企業連合)等をはじめとする現地の団体と協議を行った。

・16日、チセケディ大統領は北キブ州ベニ市を訪問し、エボラ治療センター(CTE)等を視察した。また17日には同市で高等防衛評議会を開催した。

・18日、チセケディ大統領は、15日夜から16日にかけて北キブ州ゴマ市から南キブ州カレヘ市に向かっていた船(エンジン付丸木舟)がキブ湖で沈没した事故を受けてカレヘを訪問し、同日夜キンシャサに戻った。

・19日、チセケディ大統領は、ボマ-モアンダ間の道路修復工事を開始するため中央コンゴ州ボマ市を日帰り訪れた。

・23日-24日、チセケディ大統領はチヨポ州キサンガニ市を訪問した。

#### (5)国民議会事務局選挙の動向

・17日、国民議会暫定事務局は、正式な国民議会事務局の選挙に関し、18日に立候補受付、23日に投票及び事務局の設置を行うと決定した(その後投票は24日に延期された)。これに対し Lamuka は、事務局ポストの配分(当館注:7ポスト中 Lamuka に配分されたのは1ポスト)で合意が形成されていないことに抗議し、国民議会事務局及び議会の常設委員会等に参加しないことを決定した。

・24日、国民議会事務局選挙の投票が行われ、FCC 選出のマブンダ議員(当館注:前性的暴力・児童徴兵対策担当大統領特別代表が、当国における初の民主的選挙である2006年以降で第4代目となる国民議会議長に選出された。第一副議長には、カブンド UDPS 党首代行が当選した。なお、副報告者ポストは、同選挙において1ポストではなく2ポストを要求していた野党側が候補者の擁立を拒否したため、現在のところは空席となっている。

#### (6)カトゥンビ元カタンガ州知事の不動産不正取得判決の無効

・19日、カトゥンビ元カタンガ州知事の弁護士は、17日付破産院の判決により、ルブンバシ簡易裁判所(tribunal de paix)が不動産の不正取得問題に関し2016年に下した3年の懲役及び即日逮捕が無効とされ、これによりカトゥンビ氏は自由の身でコンゴ(民)に帰国出来ると AFP に伝えた。

#### (7)チセケディ大統領とカビラ前大統領の二者協議

・22日、カビラ前大統領はチセケディ大統領を Cite de l' UA に訪れ、FCC-CACH 連立、首相指名と組閣、国民議会における勢力均衡等について二者協議を行った(22日付 FCC ツイッター)。

#### (8)野党の動向

##### ア Lamuka 指導者によるブリュッセルでの会議

・26日-27日、野党プラットフォーム Lamuka の指導者6名(カトゥンビ元カタンガ州知事、ベンバ MLC 党首、ファユル ECiDe 党首、ムジト「Nouvel Elan」代表、ムブサ RCD-K/ML 党首、マトウングル CNB 党首)はブリュッセルで会議を開催した。

## イ ファユル ECiDe 党首の帰国及び Lamuka 政治集会

・28日、Lamuka のファユル ECiDe 党首が欧米外遊を終えンヅリ空港に到着した。Lamuka は同党首の到着後、ンヅリ地区の Saint Therese 広場で政治集会を行い、チセケディ大統領の辞任を求めた。

## (9)独立国家選挙委員会 (GENI) の動向

### 一部選挙区での上院議員選挙及び州知事・副州知事選挙の日程

・9日、GENI は昨年12月30日の選挙が延期された4選挙区(北キブ州ベニ選挙区、ベニ市、ブテンボ市及び、マイ=インドンベ州ユンビ選挙区)での上院議員選挙を5月18日、州知事・副州知事選挙を5月30日に実施すると発表した。

## 2. 外交

### (1)チセケディ大統領のセネガル訪問

・1日、チセケディ大統領は2日に行われたマッキー・サル大統領の就任式に出席するため、ダカールに到着し、空港でサル大統領の出迎えを受けた。

### (2)チセケディ大統領の訪米

・3日-5日、チセケディ大統領は就任後初となるアフリカ大陸外への外遊先として米国を訪問し、ポンペオ国務長官等と会談した。  
・4日、チセケディ大統領は外交問題評議会での記者会見で、米国は軍と行政改革及びその後の投資誘致の理想のパートナーであると述べた。一方で、米による委員長を含む GENI 幹部3名への制裁を批判した(4日付 RFI)。

## 3. 東部及び大湖地域情勢

### (1)南キブ州での対ブルンジ反政府武装勢力作戦で民兵36名が死亡

・6日-8日、コンゴ(民)国軍(FARDC)は南キブ州のブルンジとの国境付近で、ブルンジの反政府勢力 FNL(国民解放戦線)及び FOREBU(ブルンジ共和国軍, FPB(ブルンジ人民軍)から改名)に対する軍事作戦を行い、反政府武装勢力36名とコンゴ(民)国軍兵士3名が死亡したと発表した。FNL の自称将軍ザバンペマ(Aloys NZABAMPEMA)も重傷を負った。なお FOREBU は、2015年4月以降のブルンジの政治的混乱により脱走した兵士及び警察官によって構成されている(11日付 RFI)。

### (2)北キブ州ベニ地区で ADF が50日ぶりに市民を襲撃

・11日-12日、北キブ州ベニ地区キャニンガ村(Kyaninga, ウガンダとの国境付近)で、ADF(民主同盟軍, ウガンダ系反政府武装勢力)が襲撃を行い、市民6名が殺害された。なお、ベニ地区における ADF による攻撃は、今年2月24日以降約50日ぶりに発生した(12日付 RFI)。

### (3)キブ湖の水難事故で100名以上が行方不明

・15日-16日、北キブ州ゴマ市から南キブ州カレヘ市に向けてキブ湖を航行していた船(エンジン付丸木舟)がカレヘ地区カシュニユ(Kashunyu)付近で沈没した。乗船リストが無いため犠牲者の詳細は不明だが、これまでに25名の遺体が収容され、100名以上が行方不明となっている模様。17日夜時点での生存者は37名である。同船は過積載だったとの情報がある(17日付 RFI)。  
・17日、カレヘを訪れたチセケディ大統領は18日を国喪とすると宣言した。

### (4)マイマイ・ニャトゥラの投降

・15日、北キブ州マシシ地区キルンブ村(Kirumbu)で、マイマイ・ニャトゥラ(当館注:フツ族系のマイマイ(自警団的な性格をもった武装集団)を率いるシボマナ「自称」将軍と222名の民兵が、63の武器(小銃, 機関銃, ロケットランチャー, 弾薬等)とともに投降した(17日付 Actualite.cd)。

#### **(5)イスラム過激派組織による初の犯行声明**

・18日、イスラム過激派組織(ISIL)は同集団の公式プレス「アマーク通信(Amaq)」に、ウガンダとの国境に近いカマンガ(Kamango)での ISIL 兵士によるコンゴ(民)軍(FARDC)への攻撃について触れ、ボヴァタ村(Bovata)の兵舎を攻撃したとする連続する2件のメッセージを発表した(19日付 RFI)。

#### **(6)WHO 派遣のエボラ関連医師の殺害**

・19日、北キブ州ブテンボ市の大学でエボラ対策関係者が襲撃され、WHO の派遣したカメルーン人疫学者 Richard Valery Mouzoko Kiboung 医師が殺害された。同襲撃ではまた、地元医師及び運転手各1名も負傷した。  
・25日、北キブ州軍事法廷は、同事件の犯人11名(うち3名が実行犯)を逮捕したと発表した。

#### **(7)イツリ州でレンドウ族が FARDC を攻撃し兵士4名が死亡**

・22日、イツリ州ジュグ地区(Djugu)のギロ FARDC 基地を民兵集団が襲撃し、FARDC 兵士4名と民兵6名が死亡した。FARDC 報道官によると、襲撃を行ったのはレンドウ族(Lendu, 農耕民族)の民兵で、軍の存在により、対抗するエマ族(Hema, 牧畜民族)への闘争行動が妨げられていることへの報復である由(22日付 AFP)。

### **4. その他**

#### **(1)ハマー米大使のルブンバシ市、カレミー市及びカナンガ市訪問**

・16日-19日、ハマー米大使は、オー=カタンガ州ルブンバシ市、タンガニーカ州カレミー市及び中央カサイ州カナンガ市を訪れ、17日にはルブンバシ高等教育学院(ISP)内に開設したアメリカ文化センターのオープニング式典を行った。17日の記者会見でハマー大使は、米がコンゴ(民)国軍(FARDC)及びコンゴ(民)国家警察(PNC)への支援を行うと述べた(20日付 ACP)。

#### **(2)ゼルギ SRSG の記者会見:MONUSCO の国内8事務所の閉鎖等**

・22日、ゼルギ国連事務総長特別代表(SRSG, MONUSCO 代表)は記者会見で、6月30日までに MONUSCO の国内8事務所を閉鎖すること及びチセケディ大統領への支援等について発言した。